

テーマ:『見えあいの子育て支援拠点をわが町にもつくりよう!』

「子育てひろば 立ち上げ支援セミナー〈東京開催〉」のご報告

9月23日と24日の2日間にわたって「子育てひろば立ち上げ支援セミナー〈東京開催〉」が行われました。今回のセミナーでは北海道から沖縄まで広範囲からの参加があり、2日間でのべ403名の方にご参加いただきました。子育てひろばの基本的な意義と役割を学ぶとともに、4つの分科会では各テーマに即した実践事例や調査報告が行われ有意義なセミナーとなりました。



開催概要

- 開催日 平成20年9月23日(火・祝)13:30~17:15
9月24日(水)10:00~12:30
- 会場 昭和女子大学グリーンホール (東京都世田谷区太子堂 1-7)
- 参加人数 248名 (のべ403名 1日目:217名 2日目:186名)
- 参加者内訳 行政63名 NPO・任意団体126名 他団体27名 その他32名
男性32名 女性216名
- 主催 財団法人子ども未来財団・NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会
- 後援 厚生労働省・(社福)全国社会福祉協議会・東京都
- 協力 NPO法人びーのびーの



開催趣旨

平成19年度より、つどいの広場事業、地域子育て支援センター事業を統合し、児童館などのスペースも活用しながら、地域子育て支援拠点事業(ひろば型、センター型、児童館型)が新たに再編されました。そこで、行政とともに地域における子育て支援拠点間の連携を図りながら、子育てひろばの意義と役割を検証します。また、ひろばスタッフ一人ひとりが日頃の活動を振り返り、見識を深め、スキルアップに寄与することを目的とします。



プログラム趣旨

地域子育て支援拠点事業の数は平成19年度末段階では、4,409か所となり、「子ども・子育て応援プラン」の平成21年度目標値では、6,000か所を前倒しすることが掲げられてきました。そこで、主にこれから子育てひろばの開設を検討している団体や自治体の皆さんを対象に、子育てひろばの機能や役割を確認するとともに、開設に至るまでの準備、運営課題、行政との関係づくり、ひろばスタッフのスキルアップなどについて学ぶことができる場として立ち上げ支援セミナーを開催いたしました。

プログラム1日目

開会挨拶・主催者挨拶

財団法人子ども未来財団研修事業部次長の岡林一枝さんより開催にあたっての主催者挨拶がありました。



岡林一枝さん



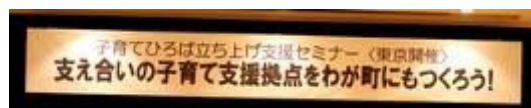
総合司会
NPO法人びーのびーの
早川志保さん

■プログラム1■

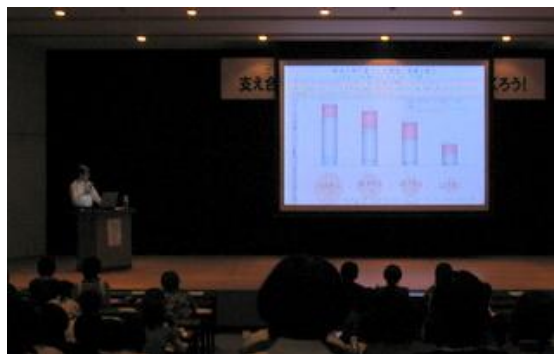
基調報告 13:45～14:30

テーマ「地域子育て支援拠点事業の概要と展望」

講師 厚生労働省少子化対策企画室長 朝川知昭さん



ひろばの立ち上げを検討する時、国の子育て支援施策の現状を学ぶことは必要な要素のひとつです。国としての今後の子育て支援施策の考え方、児童福祉法改正も視野に入れた最新情報をお話いただきました。



朝川知昭さんの報告

■プログラム2■

基調講演 14:30～15:30

テーマ「子育て支援拠点・ひろばの機能と活動」

講師 日本福祉大学教授 渡辺 顕一郎さん

子育てひろばの機能や支援者の役割について、調査データや、渡辺先生ご自身の実践例も交えながら具体的に説明をしていただきました。

「地域資源につなぐ」「親の成長のために必要な葛藤まで肩代わりしない」

「ひろばのオグシオ＝オ・・・親子をみる グ・・・グループをみる シ・・・社会・地域をみる オ・・・己をみる」といったキーワードは、参加者から大変高い共感を得ました。



渡辺 顕一郎さん



■プログラム3■

パネルディスカッション 15:45～17:15

テーマ 「子育て支援拠点・ひろばの位置づけを再確認しよう」

【コーディネーター】

奥山千鶴子さん NPO法人びーのびーの

【パネリスト】

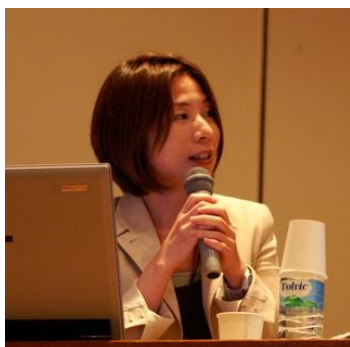
新澤誠治さん 「みずべ」グループ スーパーバイザー

渡辺顕一郎さん 日本福祉大学教授

橋本真紀さん 聖和大学専任講師

朝川知昭さん 厚生労働省少子化対策企画室長

パネリストそれぞれの立場から、子育てひろばの役割と意義についてプレゼンテーションがありました。新澤誠治先生のお話にあった「優しさの循環」というキーワードは、多くの参加者に響いた言葉となりました。また、橋本先生は、研究者の視点から、子育てひろばの意味と支援者の役割についてわかりやすく説明してくださいました。さらに、厚労省の朝川室長は、行政と協働を進めていく上で、行政へのアプローチにはタイミングも大事であることなど、具体的な事例を挙げてお話いただきました。



橋本真紀さん



新澤誠治さん



奥山千鶴子さん



朝川知昭さん



渡辺顕一郎さん

プログラム2日目

■プログラム4■

<分科会1>子育てひろばの力と可能性

【コーディネーター】

新澤 拓治さん 練馬区立光が丘子ども家庭支援センター

【パネリスト】

小原 聖子さん ゆったりーの

甲斐 恵美さん 風の谷保育園さかえ・こどもセンター

原 美紀さん 港北区地域子育て支援拠点どろっぷ

パネリストの小原さん、甲斐さん、原さんの各ひろばでの具体的な事例報告をもとに、子ども・子育て家庭を支えるひろばの役割を話し合いました。

☆出会い

ひろばでは、人との出会い、信頼できる人との出会い、人とのつながりが何より大切。

☆ひろばのルールについて

ひろばではあまりルールを作らないことが理想。しかし、日々大勢の多様な人たちがひろばに来る中、スタッフ側が期待することと違うことが多々おこることがあるので、スタッフは何をすればよいのかいつも考え、これで良いのか、常に自分自身に問うことが大事である。その一方で毎日日記や記録をつけ、一人で問題を抱え込まずスタッフ同士の話し合いをたくさん持つことが大切。

☆スーパーバイザーの存在

スーパーバイザーの存在はとても重要。スタッフが毎日「振り返り」をする中で、自分たちの困っていることやひろばでおこったことなどをスーパーバイザーに相談することにより、スタッフのモチベーションを上げることが可能。

☆社会に伝えること

子育ては社会の共通問題として、今、考えなければならない問題である。ひろばを運営する中で「どのような社会を目指すのか」「どういった助け合いができるのか」「地域の中でどう子育てを助け合うことができるのか」を考え、社会全体を変えていくことが大切。そのためには、私たち子育て支援にかかわる者が、子育て中のお母さんたちの求めていることを的確に行政に伝えていくことが必要。

上記のようなことがディスカッションを通して、語られました。



新澤 拓治さん



小原 聖子さん



甲斐 恵美さん



原 美紀さん

<分科会2> 拠点・ひろば運営の初期の課題を語り合う

【コーディネーター】

松田 妙子さん NPO 法人せたがや子育てネット

千葉 勝恵さん NPO 法人手をつなご

【グループファシリテーター】

丹羽 洋子さん 育児文化研究所

埼玉 西川 正さん NPO法人市民活動情報センター・ハンズオン

市川 徹さん NPO法人せたがや子育てネット

橘 たかさん NPO法人せたがや子育てネット

千葉 晋也さん NPO法人せたがや子育てネット

松田さん、千葉さんの総合コーディネートのもと、各グループにファシリテーターが入った形式で、「居心地のよいひろばとはどういうものなのか？」というテーマでのワークショップが始まりました。参加者はまさにひろばを立ち上げたばかりの方がほとんど。5つのグループそれぞれが、熱気あふれるディスカッションを展開し、最後に各グループからの発表がありました。

下記は、グループ発表でてきた内容をまとめたものです。

- ・ ひろばの立ち上げそのものがゴールになり、目の前のやるべきこと＝to do に偏りがちであるが、本来どうあるべきか＝to be が大切ではないか。
- ・ 物やお金ではなく、人が「核」になることを心がけたい。
- ・ 立ち上げ時期の想定外の問題に関しては、仲間で課題を共有すること、そしていろいろな手法をためしてみるのもよいのではないか。
- ・ 心地のよい居場所とは、スタッフが笑顔でいるだけでなく、一緒に涙を流せる場であり、利用者とともに場所をつくりあげることが大事。
- ・ 事件はチャンス！事件から全体を深く掘り下げて考えていくことも大切。
- ・ お母さんたちが今やっている「子育て」そのものがひろばを作り上げている。そのことがとても大切。



橘 たかさん



西川 正さん



千葉 晋也さん



丹羽 洋子さん



松田 妙子さん



千葉 勝恵さん



市川 徹さん

<分科会3>ひろば運営の実際～課題と展望～

【コーディネーター】

野口 比呂美さん

NPO 法人やまがた育児サークルランド

【パネリスト】

大谷 由紀子さん

奈良女子大学博士研究員

松崎 恭子さん

子育てステーション世田谷おでかけひろば SHIP

荒 久美子さん

NPO 法人松戸子育てさぽーとハーモニー

パネリストの大谷さんからは調査報告、松崎さん、荒さんからは、それぞれの実践の事例報告がなされました。

☆<大谷さん> 全国の子育て支援「ひろば型」の運営の調査報告

- ・ 「どのようにしたら子育てしやすい町になるのか」「子どもがのびのび育つことのできる町になるのか」という視点から全国のひろばの実態を調査した。
- ・ 乳幼児期では子どもが小さければ小さいほど親の生活圏・外出の機会が少なく孤立しがちな環境である。子育てひろばなどが身近なところにあることが、親の孤立や不安を防ぎ、親への支援につながる。
- ・ 「ひろば」とは……親の孤立や不安を防ぎ、親に力をつける場、地域の人材育成の場、そして社会参加の機会にもなる場所。支えられている自分から時に支える側へも回ることができる循環型、そして地域を担う人材育成の場でもある。
- ・ お金も時間もかかるが、長いスパンでとらえると、ひろばを育てて地域に定着させることは地域全体の活性化にもつながってゆく。
- ・ 運営の基盤は「人材・空間・資金」+意識が必要だと考えられる。

☆<松崎さん、荒さん> 実際のひろば運営についての実践報告

- ・ ひろばの居心地は、スタッフによって変わる。
- ・ 役所の担当者とは毎月直接会って話をする事、そのことによって行政との関係性が築けるのではないかと。
- ・ ひろば利用者が4～5年後、何らかの形でひろばにかかわってくれる循環型になっていくことがひろばの理想だと考えられる。

以上のようなことが調査報告、事例報告を通して語られました。



大谷 由紀子さん



野口 比呂美さん



松崎 恭子さん



荒 久美子さん

<分科会4> 民間団体と行政のよりよい協働関係作りをめざして

【コーディネーター】

奥山 千鶴子さん NPO 法人びーのびーの

【事例報告】

石井 啓友さん 市川市こども部子育て支援課

幸前 文子さん いくじネットいちかわ

鈴木 雅子さん NPO 法人わこう子育てネットワーク

荒木田 百合さん 横浜市こども青少年局地域子育て支援課

行政、民間、それぞれの立場から事例報告をしていただいたのち、民間団体の自立性を生かした上での行政とのよりよい関係作りに関する初期課題について話し合われました。具体的な事例からは、「市民とつながる」「他の団体とつながる」「行政とつながる」といった地域コミュニティの実践例を学ぶことができました。

また、下記のようなことがディスカッションでは話し合われました。

- ・地域子育て支援拠点は、スタッフが親子にアドバイスをするところではなく、来る人たちが安心していられる場所でありたい。そのためにはスタッフが親子により添う視点を持つことが大切。
- ・地域と密着していくことが大事であり、それが行政との「和」作りとなる。
- ・行政だからできること、行政ではできないこと、市民ができること、市民ではできないこと、について共通理解を持ち、お互いの力を出し合える最良の接点を探ることが重要。
- ・行政・市民が協働で取り組む場合、目指すものがはっきりしていると方向性がばらつかない。



石井 啓友さん



幸前 文子さん



鈴木 雅子さん



荒木田 百合さん

■プログラム5■

全体会(分科会の報告) 12:00~12:30

【コーディネーター】

坂本 純子さん

NPO法人新座子育てネットワーク

【報告者】

分科会1 新澤 拓治さん 練馬区立光が丘子ども家庭支援センター

分科会2 松田 妙子さん NPO 法人せたがや子育てネット

分科会3 野口 比呂美さん NPO 法人やまがた育児サークルランド

分科会4 奥山 千鶴子さん NPO 法人びーのびーの



本セミナーのまとめとして、各コーディネーターから分科会の報告があり、参加者全体で情報を共有しました。

2日間にわたり、のべ400名を超える方にご参加いただき、行政・民間団体の壁をこえて様々な意見交換がなされましたが、ぜひ、今回のセミナーの成果を現場に持ちかえっていただき、今後の子育てひろばの実践に役立てていただきたいと思います。



坂本 純子さん



新澤 拓治さん



奥山 千鶴子さん



松田 妙子さん

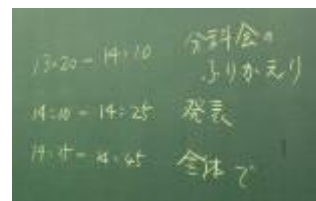


野口 比呂美さん

■オプションプログラム■

A:情報交換会 13:15~14:45

全国から集まった参加者が今回のセミナーの感想や意見、それぞれの熱い思いなどを出し合いました。セミナーの中では話し足りなかったことなどを、自由に意見交換することができ、大変有意義な機会となりました



B:ひろば視察会

参加者から希望者を募り、下記の7つのグループに分けてひろば視察を実施しました。各ひろばでは、資料を用意していただき、ひろば実践の現場を肌で感じながらスタッフの皆さんの具体的なお話を伺うことができました。

視察の受け入れをしてくださった各ひろばの皆様、ご協力ありがとうございました。

番号	ひろば名	日時	ひろばへのアクセス
①	子育てステーション世田谷・ おでかけひろばSHIP	23日(火・祝) 11:00	昭和女子大学オープンカレッジ2階
②	子育てステーション世田谷 おでかけひろばSHIP	24日(水) 13:30	昭和女子大学オープンカレッジ2階
③	練馬区立光が丘子ども家庭 支援センター光が丘ぴよぴよ	24日(水) 14:30	都営大江戸線「光が丘駅」徒歩5分
④	練馬区立大泉ぴよぴよ	24日(水) 14:30	西武池袋線「保谷駅」徒歩10分
⑤	おでかけひろば@あみーご	24日(水) 14:00	東急世田谷線「松原駅」徒歩10分
⑥	ゆったりーの	24日(水) 14:30	東京メトロ東西線「神楽坂駅」または都 営大江戸線「牛込神楽坂駅」徒歩10分
⑦	新座市立栄保育園 地域子育て支援センターーえん	24日(水) 14:30	西武池袋線「大泉学園駅」他から タクシーで15分